

AWSCJ Vision 2015-2025

—— 第二期中期行動計画 (2019-2021) ——

新しい時代に 魅力ある水コンサルタントをつくる

—— コンサルタントの信頼性を高め、コンサルタントの社会的地位向上へ ——

上下水道界の最近の動きについて — 中期行動計画策定にあたって —

上水道分野

水道の基盤強化を目的とした水道法の改正。(2018年12月)

- ①関係者の責務の明確化
- ②広域連携の推進
- ③適切な資産管理の推進
- ④官民連携の推進
- ⑤指定給水装置工事事業者制度の改善

水コンサルタントが当事者として大きく関わり、
水コン協及び会員企業への期待が非常に大きい

「新下水道ビジョン加速戦略」が2017年に策定され、現在、各施策が着実に実行中。

効果的・効率的な国の技術的・財政的支援の中期的な方向性をとりまとめた「社会情勢の変化等を踏まえた下水道事業の持続性向上に関する検討会報告書」がまとめられた。(2019年3月)

下水道分野

- ①未普及対策の推進
- ②浸水対策の推進
- ③地震対策の推進
- ④水質改善の推進
- ⑤省エネルギー化・資源利用の推進
- ⑥老朽化対策の推進
- ⑦PPP/PFIの推進
- ⑧広域化・共同化の推進
- ⑨技術開発の推進
- ⑩国民への発信

水コンサルタント及び水コン協を巡る状況の変化

自然環境面

災害の激化・甚大化

社会環境面

官民連携、広域化・共同化、老朽化
働き手の不足と働き方改革
急速なデジタル化・グローバル化と技術革新

国の政策面

水道法の改正
「防災・減災、国土強靱化のための
3か年緊急対策」の推進

水コン協自身

水コン協の公益社団法人化



新しい中期計画の特色

魅力ある職業・ 魅力ある企業を目指す

水コンサルタントの究極の目標として、「新しい時代に魅力ある水コンサルタントをつくる」とし、これを、キャッチフレーズとしました。

地域・都市に根つき、 寄り添った存在に

「地域の上下水道インフラマネジメントの一翼を担う者」として活動し、地域発展の中核的な役割を果たしていく決意を明示しました。

社会的地位・知名度確立、 リスペクトされる存在に

水コンサルタントの知名度・社会的地位の確立を目指し、リスペクトされる存在を指向します。経営基盤の確立・SDGs達成推進への貢献を行います。

人材確保と人材育成

水コンサルタントへの優秀な人材確保と人材育成を図り、上下水道界の活性化・発展に貢献します。

事業体の刻々と変化する 多様な課題に的確に素早く対応

官民連携への対応・デジタル化への先導的対応等のため、業務領域の拡大を図り、的確に素早く対応していきます。

上下水道インフラ界の トータルコーディネーターに

事業体の現場の課題を把握し、専門知識と総合的な知見を持つ水コンサルタントは、さらに知識・経験を伸ばし、水のトータルコーディネーターを目指します。

「10の主要行動」提示

水コン協・水コン協会員企業が、今後の3年間、特に力を入れて臨む行動を、「10の主要行動」として、明示しました。

幅広い意見を聴取して策定

昨年7月以降、全国の水コン協会員、本部委員会、外部理事の皆様等、幅広く意見をお伺いして、策定しました。

第二期中期行動計画の基本的考え方

第二期中期行動計画は、「AWSCJ Vision 2015-2025」を基本としています。そのうえで、前項Ⅲ.で述べた「状況の変化」を考慮して、次に示す「基本的考え方」の理念のもとで策定しました。水コン協は、会員企業の多様な活動を支援します。

- 1 水をベースとした地域づくり・都市づくり
- 2 変化に柔軟に対応、リスペクトを受ける存在に
- 3 国等の新たな動きへの素早く的確な対応
- 4 水のトータルコーディネーターに
- 5 効率化と品質の向上の両立
- 6 対外的な視点と水コンサルタント内部の視点、両面からの改革・進化
- 7 経営基盤の確立
- 8 「令和」とともに上下水道インフラの第二ステージがスタート



1

水をベースとした地域づくり・都市づくり

その地域に最適な上下水道インフラシステム・水環境を提案し、その地にふさわしい地域づくり・都市づくりに寄与します。

2

変化に柔軟に対応、リスペクトを受ける存在に

水コンサルタントは、事業者の信頼を受け、将来とも存在価値を認められる持続可能で知的な、国民のリスペクトを受ける職業となります。

3

国等の新たな動きへの素早く的確な対応

水コンサルタントは、3か年の国土強靱化緊急対策・水道法改正等国等の新たな動きに素早く的確に対応します。

4

水のトータルコーディネーターに

水コンサルタントは、官民連携への支援を含め、上下水道インフラの「トータルコーディネーター」となります。事業者・国民から、リスペクトされ、憧れられる職業を目指します。



5

効率化と品質の向上の両立

水コンサルタントは、働き方改革に積極的に取り組み、魅力ある就業環境を提供することにより、「業務の効率化・生産性の向上」と「品質の向上」の両立を目指します。

6

対外的な視点と水コンサルタント内部の視点、両面からの改革・進化

水コンサルタントは、対外的な視点と水コンサルタント内部の視点の両面から改革・進化をします。そのため、官民連携、デジタル化への対応、国際展開、業務範囲の拡大等を図ります。

7

経営基盤の確立

水コンサルタントとして、収益を安定させ、経営基盤を確立します。



8

「令和」とともに上下水道インフラの第二ステージがスタート

水コンサルタントは、事業体において持続的な上下水道経営がなされるよう、日本及び上下水道インフラ界の将来を俯瞰しつつ、的確なアセットマネジメント支援等により、幅広い最適な対応をしております。

第二期中期行動計画 10の主要行動

主要行動 ① 水システムを通して地域・都市を豊かに

主要行動 ② 業務領域を拡大し変化する事業体の課題に適時的確に対応

主要行動 ③ 災害等緊急時に前面で素早く対応

主要行動 ④ 官民連携への適切な支援

主要行動 ⑤ デジタル化への先導的対応

主要行動 ⑥ 水コンサルタントの社会的地位・知名度確立と経営基盤の確立、SDGs達成に向けての貢献

主要行動 ⑦ 働き方改革等による魅力ある職場の創出

主要行動 ⑧ 多様な業界関係者との連携の強化

主要行動 ⑨ 上下水道分野で技術面・技術開発面でもリーダーシップを発揮

主要行動 ⑩ 国際展開への貢献





主要行動

1

水システムを通して地域・都市を豊かに

水コンサルタントの究極の目標は、上下水道インフラ・水環境システムを通して、多種多様な地域の課題・社会の課題の解決に向けて、地域のニーズに耳を傾け、連携しながら取り組み、対応し、地域・都市・社会の創造を支援することです。地域・都市に応じた水の最適なシステムを提示し、リスクの少ない豊かな社会の実現を図っていきます。





主要行動

2

業務領域を拡大し変化する事業体の課題に適時的確に対応

水コンサルタントは、事業体のニーズを把握し、事業体の様々な要請に応えるため、業務領域を拡大し、解決を図ります。事業体の実態・要望を国に伝え、国の制度等を的確に事業体に伝え、地域にとって最適な提案に努めます。水コン協の「要望と提案活動」のさらなる活発化を図り、事業体と連携しつつ、事業体の課題解決に的確に取り組みます。

事業体のニーズへの対応に当たっては、AI・IoTなど新しい社会システムの変化を見定め、日本及び上下水道インフラ界の将来の姿を俯瞰しつつ、上下水道インフラ界のトータルコーディネーターとして、的確な対応を図ります。





主要行動

3

災害等緊急時に前面で素早く対応

水コンサルタントは、平時と緊急時、いずれにおいても、事業者と連携し、地域のために対応します。災害等緊急時には、直後の支援・復旧支援において、地域のために素早く対応します。

そのため、災害等緊急時に力を発揮できるよう、平素から、緊急時対応のノウハウを蓄積し、費用負担ルール等支援ルールを確立した上で、災害等緊急時対応における水コンサルタントの存在意義を向上させます。





主要行動

4

官民連携への適切な支援

水コンサルタントは、官民連携を支援します。地域にとって最適で多様な官民連携策を積極的に提案します。水コンサルタントがプレーヤーとなつての支援、アドバイザーとしての支援、モニタリング主体としての支援等、あらゆる角度から事業体の官民連携を支援し、一步一步、実績を積み重ねてまいります。





主要行動

5

デジタル化への先導的対応

水コンサルタントは上下水道分野へのBIM/CIMの先導的適用、上下水道分野でのAI・IoT等ICTの徹底的活用、システム開発等ソフトウェアの開発・活用の推進を積極的に図り、事業者の上下水道経営や事業執行の効率化と水コンサルタントの経営健全化・効率化に寄与します。





主要行動

6

水コンサルタントの社会的地位・知名度確立と経営基盤の確立、 SDGs達成に向けての貢献

水コンサルタントという職業の周知・社会的地位確立と水コンサルタントの経営基盤確立のための歩掛・単価・基準・入札契約方式等の適時的確な改定・増補を要望し実現を図ります。また、SDGs(国連の持続可能な開発目標)が、水コンサルタントの活動と軌を一にする内容が多いことを受け、水コン協挙げて、水に係るSDGsの達成に近づく行動を取り、水コンサルタントの知名度向上と社会的地位確立を目指します。





主要行動

7

働き方改革等による魅力ある職場の創出

水コンサルタントは、働き方改革(ワークイノベーション)を率先して実行し、「業務の効率化・生産性の向上」と「品質の向上」を両立させ、あわせて魅力ある職場を創出します。





主要行動

8

多様な業界関係者との連携の強化

地域の抱える課題の解決に速やかに取り組むため、上下水道分野以外の企業、上下水道分野での維持管理等の企業との連携・協働を進めます。また、水コンサルタント間の連携・協働を図ります。





主要行動

9

上下水道分野で技術面・技術開発面でもリーダーシップを発揮

水コンサルタントは、地域に適した最適技術を公正に判断し、ガイドライン・マニュアル等を整備していきます。分野によっては、現場の実情・課題を的確に把握し専門知識と総合的な知見を持つ水コンサルタント自らが技術開発を実行し、上下水道分野の技術面・技術開発面でのリーダーシップを発揮します。





国際展開への貢献

水コンサルタントは、世界に目を向け、グローバルな視点を持って、上下水道分野に係る海外情報の共有、海外技術の採用、海外への技術輸出、海外業務の展開を、商社等海外展開の経験豊かな企業等、各方面と連携を図りながら、推進します。

